

令和2年12月15日

新剣連加盟団体会長 様

一般財団法人新潟県剣道連盟

会長 浅原 行雄

【公印省略】

「新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法」について

標記の件について、12月12日に全剣連の伝達研修会が開催されました。それを受け、ガイドラインを作成致しました。

すでに報告してあります全剣連の「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」と合わせて、当面の間、下記のように全国的に統一された規則の運用および大会運営をお願い致します。

なお、令和3年1月17日実施予定の全日本選手権大会新潟県予選会も、下記の運用によって実施致しますので、出場予定の選手に周知徹底をお願い致します。

記

【新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法】

- 1 新型コロナウイルス感染症が終息するまでは暫定的な試合・審判法を感染状況等踏まえながら、大会毎に大会実施要項に定める。
- 2 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
 - ※ 1/17県予選会は、試合時間を4分に変更し、延長戦は3分区切りで実施します。
- 3 試合者は、鏝競り合いを避ける。
 - * 接触した瞬間の引き技、及び体当たりからの技（発声を含む）は認める。
 - * やむを得ず鏝競り合いとなった場合、試合者はただちに分かれる。
 - * 審判員は鏝競り合いを解消しない場合には、ただちに「分かれ」を宣告する。
 - * ① 意図的な「時間空費」
 - ② 防御姿勢（勝負の回避）による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則り反則と判断する。

[上記3における解説及び統一事項]

① 「分かれ」→「始め」の宣告の仕方

- * 審判員は選手の先取りをして移動する。特に主審は先取りをしないと試合者の中央で「分かれ」を宣告することが困難になる。状況により「分かれ」の宣告が試合者の

中央で宣告できない場合もあるが「始め」の宣告は必ず両試合者の中央の位置で行う。

- * 「分かれ」は主審の裁量で判断し宣告する。
- * 完全に剣先が触れない位置まで分かれさせる。

② 「分かれ」を宣告する機会（時期）

- * 「ただちに『分かれ』を宣告する」とは特に秒数は設けていない。
- * 機械的にすぐに「分かれ」を宣告すると試合者は「分かれ」の宣告を待つことになり、「分かれ」を多発することになる。
- * 試合者は鏢競り合いになった瞬間、技が出ない場合は積極的に分かれる努力をする。
- * 打突動作から鏢競り合いになり「縁が切れ」、分かれないうちは直ちに「分かれ」を宣告する。（主審の裁量）

③ 相互に分かれようとしている途中の打突は有効打突とはしない。

- * 場合によっては合議の上、反則を適用する。特に一方が分かれようとしている場合に追い込んで打突する場合や分かれようと思わせて打突する場合等。

④ どちらか一方が分かれようとしないうち、或いは分かれようとしている相手に接近していく行為が見られた場合は合議の上、反則を適用する。（主審の裁量）

⑤ 意図的な「時間空費」「防御姿勢（勝負の回避）」による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則り合議の上、反則を適用する。

⑥ 鏢迫り合いの解消の仕方は、表鏢で完全に剣先が触れない位置まで間合を切る。裏交差は、反則とする。

4 審判員の密接を防ぐために * 下記図参照

- ① 審判員の試合場への入退場の際は、1メートル以上の間隔を空けて行う。
- ② 主審と副審の袖と袖の間隔を1メートル以上空ける。
- ③ 主審は中心の位置に、副審は開始線よりやや外側に立ち、定位置まで開始線の外側を通り直進する。
- ④ 合議は1メートル以上の間隔を空けて行う。
- ⑤ 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は1メートル以上の間隔を空ける。

5 試合者、審判員は試合中マスク着用する。それ以外の開会式、閉会式、待機中等においても常時マスクを着用する。

- * マスクは口鼻を隠し、正しく装着する。
- * 試合者は、マスクとマウスシールドを着用する。

6 審判旗は各自専用のもを使用する。

【竹刀検査】 (実施の場合)

竹刀検査は三密状態になりやすく感染リスクが高まるので、下記の点に留意して実施する。

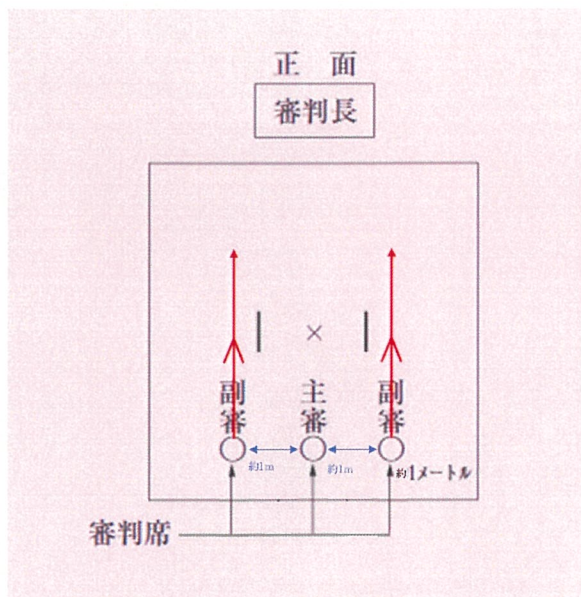
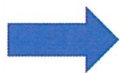
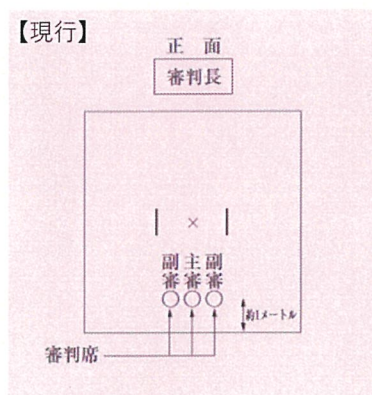
(例)

- ① 検査を受ける者はマスクを着用する。
- ② 検査員はマスクと使い捨て手袋を着用する
- ③ アクリル板等で検査員と検査を受ける者を仕切る。
- ④ 検査→退場のルートを一方通行にする等工夫する。
- ⑤ 待機時に間隔をとる。(床にテープを貼る等、位置決めをする)

【別添1】

剣道試合・審判運営要領 p14 審判員の移動・交替要領

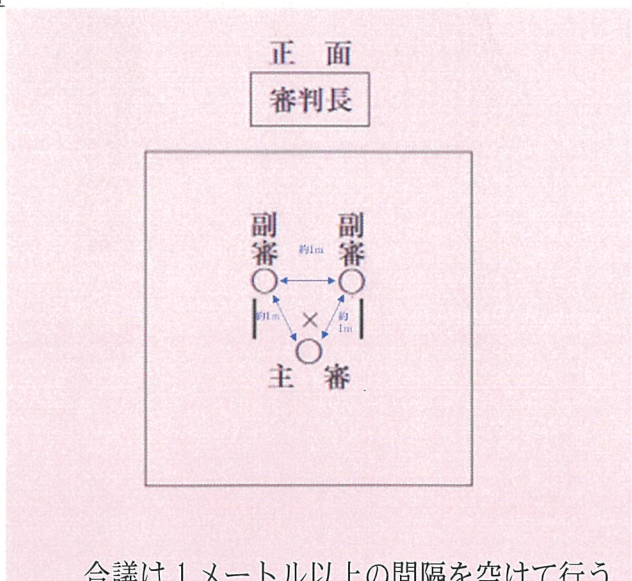
第1図 審判員の入場および整列



副審は開始線よりやや外側に立ち、
定位置まで開始線の外側を通り直進する

【別添2】

審判員合議時の位置



合議は1メートル以上の間隔を空けて行う